

監督及び競技者注意事項

- 1 本駅伝大会は2018年度日本陸上競技連盟駅伝基準と大会申し合わせ事項に準じて行う。
 - (1) スタート時における並び方は抽選とする(監督会において)前列13チーム
 - (2) 出発は規則に準ずるが特に次の如く合図する。
(10秒前)「オン・ユア・マークス」※(競技者は静止する)「セット」は言わない
 - (3) 出発はピストルで合図する。

※【出発について第一走者への注意】

- ① 出発の10分前、5分前、3分前、1分前、30秒前、20秒前、10秒前をアナウンスする。
(10分前にチーム紹介を行う。→5分前に集合線に集まる→3分前に競走の支度をする→10秒前に「オン・ユア・マークス」とコールする)
- ② 競技者は「オン・ユア・マークス」の合図でスタートラインに並び、ピストルの合図でスタートする。(不発の場合でもスタートする)
- ③ 不正出発の場合はやり直しを行う。(2分後)

1区の走者が集合して、車道が封鎖され、安全面が確保された場合、さらに時間的余裕がある場合、流しをいれます。

- 2 競技者が、途中で怪我又は腹痛などの不慮の事故で競技を続行することが出来ない場合は、当該チームのその区間の競技を無効とする。そのチームは審判長の指示に従い、次の区間走者から再び競技を続行する。
- 3 レース中、競技者が不慮の事故のため競技を中止した場合、交通事情又は競技運営上から困難な面があるので次走区から次走者を出発させる。
この場合出発は、最終走者と同時に出発させオープンとして取り扱い、総合記録は認めないが、事故にあった区間以外の区間走者の記録は認める。
- 4 各中継所で先頭通過時刻より15分以上経過した場合、審判長の判断により繰り上げスタートもありうる。
- 5 中継所のタスキの受け渡し区域は、中継線の前方に20mとする。
- 6 競技者は道路の左端(路肩より)を走り、交通信号によらず役員(指導員)の指示に従うこと。右カーブ、右折による走路は中央線を越えないようにする。
- 7 ナンバーカードは、胸と背に確実につける。「タスキ」は必ず肩から斜め下の脇にかけて走る。競技中「タスキ」をはずしてよいのは、中継所400m手前からとする。
- 8 競技者に対しては、いかなる者(チーム関係者・保護者等)でも徒歩であろうと車両(車・オートバイ等)であろうと伴走は許されない。
- 9 すべての車両は、コース上に駐車または停車できない。
- 10 競技者の配置及び収容は、競技者配置回収計画の通りとする。原則として、各学校各区間に1人の付き添い係を配置することができる。男子2区と5区、男子3区と6区は、2区間に1人の付き添い係とする。(2区間が同じ中継所にあるため)
- 11 競技者のオーダー用紙は、前日の監督会議前に受付にて提出する。ただし、その後、不慮の事故で(怪我や病気等)で変更する場合は、大会当日の午前7:30分~午前8:00までの間に大会本部テントへ「出走者(選手)変更届」を提出すること。(補員から補う)
- 12 競技者は、大会前に意思の検診を必ず受けること。
- 13 「審判長は不適切な行為をする競技者を除外させたり、競技続行不可能と判断された競技者を中止させる権限を有する。審判長の権限を技術総務、競走審判員、監察員に委任しておく必要がある」(日本陸連駅伝競走規準)を適用し、判断基準については監督会にて申し合わせを行う。

※ 駅伝の練習や下見等は車両に注意し、歩道や道路左端を走ること。